



2020 年 8 月

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディコミュニケーションセンター

新型 Audi Q7

要約版

新型 Audi Q7 の概要 2

詳細版

- ▶ エクステリア & ボディ 4
- ▶ サスペンション 6
- ▶ 駆動システム 7
- ▶ インテリア & 操作系 10
- ▶ インフォテインメント & コネクティビティ 12



要約版

次のレベルへと進化：新型 Audi Q7

Audi Q7 に大規模なアップデートが施されました。変更点は、スタイル及びテクノロジーにおける、あらゆる側面に及んでいます。この大型 SUV モデルは、Q ファミリーの新たなデザイン言語を纏い、広々としたスペースに加えて、優れたダイナミクスと快適性を提供します。マイルドハイブリッドテクノロジー、デジタルによる操作コンセプト、マトリクス LED ヘッドライトダイナミックターンインディケーターは、そのハイライトの一例です。

力強いスタイル：エクステリアデザイン

Audi Q7 は、最新のデザイン言語を使用して、SUV ならではの特徴的なスタイルを表現しています。フロントエンドのハイライトは、6本の垂直スラットを備えた大きな八角形シングルフレームグリルで、この SUV のスタイルをさらにパワフルに演出しています。フロントグリルの左右に設置されたエアインレットは、高い地上高とオフロード性能を強調するサイドシルと同様、表現力豊かなラインを備えています。リヤデザインは見直され、フラットな左右のリヤライトをつなげる印象的なアルミニウムストリップを採用し、リヤライトのテクニカルなグラフィックとともに、水平基調のデザインをさらに一步前進させています。特にライセンスプレートの領域には、車両の全幅にわたって張りのあるフラットな面が設定され、クリアなイメージを演出しています。S ラインエクステリアを装着した Audi Q7 55 TFSI quattro S line は、特に印象的です。フロントバンパーブレード、スポーティな雰囲気演出するリヤアンダーボディプロテクション、20インチアルミホイールが装備されます。

スポーティなオンロード性能、パワフルなオフロード走破性：サスペンション

アウディは、Q7 のダイナミックなキャラクターを大幅に強化しました。サスペンションは、車高調整機能も提供し、標準装備される quattro ドライブとともに、オフロードでも高い走破能力を示します。7種類のプロフィールを備えたアウディドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムにより、適切なオフロードモードを選択することができます。標準車にはアダプティブエアサスペンションをオプションで設定。S line には標準のエアサスペンションと比較して車高が15mm 低くなるアダプティブエアサスペンションスポーツを標準装備しています。

マイルドハイブリッドテクノロジーを標準装備：ドライブトレイン

新型 Audi Q7 55 TFSI quattro には、パワフルな3リッターガソリンエンジンに8速ティプトロニック及び quattro フルタイム4輪駆動システムが組み合わされます。この新しいV6ガソリンエンジンはシングルターボチャージャーによって過給されます。最高出力は250kW (340PS)、最大トルクは500Nmです。WLTCモードの燃費は、9.3km/ℓです。

また限定車として導入する Q7 45 S line limited には、2リッター直列4気筒ターボエンジンに8速ティプトロニック及び quattro フルタイム4輪駆動システムを組み合わせています。最高出力は185kW (252PS)、最大トルクは370Nmを発揮。JC08モード燃費は11.0km/ℓです。

55 TFSI quattro に標準で搭載されるマイルドハイブリッドテクノロジーは、エンジンの効率向上に大きな役割を果たします。このテクノロジーにより、100km 走行毎に最大0.7リットルの燃料が削減されます（欧州仕様車測定値）。その中心的なコンポーネントであるベルト駆動式オルタネータースターター（BAS）は、コンパクトなりチウムイオンバッテリーを備えた48ボルトの主



電源システムに回生エネルギーを供給します。BAS は、制動時に最大 8kW の電力を回生してバッテリーに充電します。55~160km/h で走行中にドライバーがアクセルペダルから足を離すと、Audi Q7 はエネルギーを回生するか、アイドリング状態で走行を続けるか、最大 40 秒にわたってエンジンを停止してコースティング（惰性走行）します。ドライバーがアクセルを踏み込むと、BAS がエンジンを再始動します。これは、従来のスターターよりも迅速かつ穏やかに行われます。スタート/ストップ機能も、22km/h 以下で作動します。

豪華なラウンジ：インテリア

5 人乗りまたは 7 人乗りのどちらの仕様を選んだ場合でも、Audi Q7 は圧倒的な Prestige 性と日常ユースにおける優れた利便性を提供します。全長は旧モデルより 5mm 短い 5,065mm で、全幅（1,970mm）と全高（1,735mm。ルーフアンテナを含む）は変更ありません。

数多くの収納コンパートメント、インストルメントパネルの新しい収納スペース、広大な積載スペースは、高い実用性を提供します。5 人乗り仕様の積載容量は、リヤシートの背もたれの位置に応じて 890~2,075ℓ となっています。リヤシートの背もたれを倒すと、フラットなフロアスペースが出現します。電動式テールゲートが標準装備され、足の動きでテールゲートを開閉できるジェスチャーコントロールも設定されています。アウディは、オプションで 7 シーターパッケージを提供します。このシートを選択すると、2 列目の 3 つのシートすべてを個別に前後にスライドすることが可能になり、背もたれの角度も個別に調整できます。また、3 列目シートは電動で倒すことができます。

水平基調のインストルメントパネルには、デジタル操作コンセプトを採用した、2 つの大型タッチスクリーンが組み込まれています。タッチスクリーンを操作すると、ハプティックフィードバックと音響フィードバックが発せられます。ディスプレイをオフにすると、上部ディスプレイは、周囲の大型ブラックパネルに溶け込んで、ほとんど見えなくなります。フラットなエア vents ストリップから、センタートンネルの幅広いコンソールに至るまで、すべての要素はお互いに理論的な関連性を備えています。標準装備のマルチカラーアンビエントライティングは、夜間にインテリアの造形を浮かび上がらせます。さらに、4 ゾーンオートマチックエアコンディショナー、ドアを静かに閉めることが可能な電動アシスト機能などをオプションで用意しています。また、空調コントロール機能とマッサージ機能など数多くの調整機能を備えたコンフォートシートをオプションで設定しています。

高度なコネクティビティ：Audi connect とアシストシステム

MMI ナビゲーションプラスは、最高レベルのコネクティビティを提供します。このシステムは、LTE Advanced、Wi-Fi ホットスポット、日常会話に対応したボイスコントロール、幅広い Audi Connect サービスを提供します。後者には、オンライン交通情報、Google Earth によるナビゲーションなどが含まれています。

アダプティブクルーズコントロール、トラフィックジャムアシスト、アクティブブレーンアシストの機能を組み合わせたアダプティブドライビングアシスタントは、ドライバーの負担を軽減します。エマージェンシーアシストも新たに追加されました。ドライバーが警告メッセージに反応しない場合、システムは自動的に車両を停止させ、保護及び救急措置を開始します。この機能は、アシストモードと手動モードで起動します。

詳細版

新しいトップエンドモデル：Audi Q7 広々とした室内、パワフルなエンジン、高い快適性

第2世代のAudi Q7は、4年前に市場に導入されました。今回、この大型SUVのスタイルを見直し、革新的技術を追加して、大幅なアップデートが施されました。新型Audi Q7は、パワフルなデザインに加えて、マトリクスLEDヘッドライト、ダイナミックターンインディケーター、マイルドハイブリッドテクノロジー、デジタルによる操作コンセプトを採用したMMIタッチレスポンスなどを装備しています。

エクステリア&ボディ

それがビジネスであれ、休暇を利用したレジャーであれ、日常ユースであれ、5人乗りまたは7人乗りのどちらの仕様を選んだ場合でも、Audi Q7は圧倒的な Prestige 性と幅広い多用途性を提供するオールラウンダーとしての役割を果たします。全長は5,065mm、全幅は1,970mm、全高は1,735mm（スチール製サスペンション仕様、ルーフアンテナを含む）です。2,995mmのホイールベースは変更されていません。

表現力豊かなエクステリア：印象的なシングルフレームグリルとヘッドライト

新型Audi Q7は、最新のオーディデザイン言語による、SUVならではのスタイルを特徴としています。シャープなエッジとアスリートを連想させる張り詰めたボディパネルは、このクルマの圧倒的なパワー、Prestige 性、quattro フルタイム4輪駆動による優れた走行性能を表現しています。フロントグリルを見ただけでも、そのスタイルは極めて印象的です。この大型SUVモデルは、6本の垂直スラットを備えた大きな八角形シングルフレームグリルを特徴としています。サイドエアインレットの形状も、より力強いデザインに変更されました。新しい輪郭とライトシグネチャーを備えたヘッドライトは、このフルサイズモデルの幅広さをさらに強調しています。ラジエーターグリルから外側に向かって走るヘッドライトは、サイズが大型化され、フロントフェンダーに向かう先端部が少し下がっています。



Audi Q7には、マトリクスLEDヘッドライトが標準装備されています。このLEDライトは、焦点を調整することで、コーナリングライトの役割も果たします。さらに、コーナリングライトは側

面照射領域を最大 80° まで拡大しています。小さな垂直セグメントに分割されたデイトムランニングライトは、立体的な光の造形を生み出します。リヤライトと同様に、ヘッドライトにはダイナミックターンシグナルが組み込まれています。

幅広さを強調：新設計されたサイド及びリヤパネル

サイドビューを見ると、台形のシルトリムエリアが視覚的な軽快感を演出し、このモデルのオフロードにおける走破性を強調しています。水平基調のボディラインは、新たにデザインされたリヤエンドへと繋がっています。リヤエンドのハイライトは、人目を引くアルミニウムストリップです。このストリップは、サイドパネルにまで伸びるフラットな左右のテールランプを接続しています。テールランプの光は、デイトムランニングライトのライトシグネチャーをモチーフにしています。ストリップはリヤエンドを上下に 2 分割し、その下にナンバープレートが設定されています。今回、ナンバープレートの領域は、フラットなデザインに変更されました。ディフューザー及びアンダーボディプロテクションに設置された水平ブラケットは、Audi Q7 の高級感溢れるエクステリアをさらに強調しています。



オフロードルック：装備ラインとカラー

新型 Audi Q7 は、フロントスポイラー、ホイールアーチトリム、シルトリムエリアに標準でフルペイントフィニッシュを適用しています。S line を選択した場合は、さらにフロントバンパーブレード、スポーティなルーフエッジスポイラー、人目を引くリヤアンダーボディプロテクションも装着されます。標準モデルは 19 インチホイールを、S line は 20 インチホイールを標準装備します。

Audi Q7 には、新しいメタリックカラーのマタドールレッドなど、合計 8 種類のボディカラーが用意されています。ソリッドカラーは 1 種類(ディープブラック)です。パールエフェクトのデイトナグレーとマタドールレッドメタリックは、S line 専用です。

インテリジェントな素材ミックス：マルチマテリアルボディ

Audi Q7 のボディは、マルチマテリアル構造として設計されています。ルーフとドアを含むアウトターパネル全体は、アルミニウム製です。フロントルーフクロスメンバー、D ピラー、C ピラーも軽量金属製です。パッセンジャーセルの強固な骨格には、熱間成形スチール製のコンポーネントが採用されており、究極の強度と軽量性を兼ね備えた素材は、A ピラーと B ピラーなどに使用されています。フロントガラスの下部もスチール製です。

高い剛性を備えたボディは、Audi Q7 の妥協のない製造品質、正確なハンドリング特性、高い空力

音響性能による静かな室内の基盤となっています。フロントウィンドーには、標準で 2 層構造のガラスが採用されています。

サスペンション

アウディは、Audi Q7 のダイナミックなキャラクターを大幅に強化しました。しかし、優れた乗り心地は一切犠牲になっていません。それとは対照的に、Q7 は高速道路での優れた乗り心地も備え、特にアダプティブエアサスペンションと組み合わせた場合、非常に快適で安定したツーリング SUV としてのキャラクターを発揮します。さらに、車高調整機能も提供し、標準装備される quattro ドライブとともに、荒れた地形でも高い走破能力を示します。

さらに高まった俊敏性：

Audi Q7 は、速度感应式の電動パワーステアリングを標準装備されています。このシステムは、路面からのフィードバックを忠実にドライバーに伝え、素晴らしい精度とともに、自然なステアリングレスポンスを提供します。パワーアシスト量は、低速では増加する一方で、速度が上がるにつれて減少します。

あらゆる路面に対応：アダプティブエアサスペンション

新型 Audi Q7 は、バランスに優れたスチール製スプリングサスペンションを標準装備しており、アダプティブエアサスペンションがオプション設定されます。S line を選択すると、アダプティブエアサスペンションスポーツが装備されます。これにより、標準仕様よりも車高が 15mm 低下します。エアサスペンションは、アウディドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムにより、4 つのモードに変更することが可能です。ドライバーの要件と運転状況に応じて、車高を最大 90mm 変化させ、前後サスペンションのレベルコントロール機能も提供します。高速道路の走行では、車高は速度に応じて最大 30mm（スポーツエアスプリングでは約 15mm）自動的に低下することで、空気抵抗が改善され、燃費が向上します。オフロードを低速で走行する場合、アウディドライブセレクトの“上昇”機能を使用して、最低地上高を最大 60mm 上昇させることが可能です。





オーディオドライブセレクト

標準装備されるオーディオドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムにより、ドライバーは 7 種類のモードを選択して、Audi Q7 のキャラクターを変化させることができます。これらのモードは、オート、コンフォート、ダイナミック、エフィシエンシー、インディビジュアル、オールロード、オフロードと呼ばれています。“オフロード”モードは、エアサスペンションとの組み合わせでのみ利用可能です。オーディオドライブセレクトは、エンジン、トランスミッションマネージメントシステム、ステアリングアシスト、アダプティブエアサスペンションのダンパーなどへ介入します。

高いオフロード走破能力：オフロードモード&ヒルディセントコントロール

Audi Q7 は、quattro ドライブ、短いオーバーハング、高い最低地上高により、オフロードにおいて優れた走破能力を示します。最低地上高は、アダプティブエアサスペンション装着車では最大 250mm、標準サスペンションでは 210mm です。柔らかい路面では、トラクションを高め、ブレーキの介入を最適化します。“オフロード”モードを選択すると、標準装備されるヒルディセントコントロールが起動します。他のすべてのドライブモードでは、必要に応じて手動で作動させることができます。この機能を使用すると、勾配 6% 以上の下り坂において、ドライバーが設定した速度（最大 30km/h）を一定に維持して走行することができます。傾斜角度は、MMI オペレーティングシステムに表示されます。アプローチアングルは 23.6°、デパーチャーアングルは 21.6°、ブレークオーバーアングルは 18° です。

大径ホイール、強力なブレーキ：アクスルコンセプト

この大型 SUV のフロント及びリヤサスペンションは、5 リンクタイプを採用しています。それにより、縦方向及び横方向の力を個別に処理することが可能になっています。リンケージとサブフレームは、その大半が軽量なアルミニウム製です。トレッドは、フロントが 1,680mm、リヤが 1,685mm です(V6 モデル)。

ホイールは、標準車が 255/55 タイヤを装着した 19 インチホイールを、S line は 285/45 タイヤで 20 インチサイズのホイールを標準装備します。ともに 21 インチホイールがオプション設定されています。フロントには、シングルディスクと固定式のアルミニウム製 6 ピストンキャリパー備えた 17 インチブレーキシステムが標準装備されます。ブレーキディスクチャンパーとディスクは鋳鉄製です。ディスクの直径は、フロントが 350mm、リヤが 330mm です。

駆動システム

アウディは、新しい排気量 3 リッターのターボチャージャー付き V6 エンジンを搭載した新型 Audi Q7 を、日本市場に導入します。このエンジンは、48V 電源によるマイルドハイブリッドシステムを備え、力強いパフォーマンスと優れた燃費を特徴としています。

トップエンジン：3.0 V6 TFSI

Audi Q7 55 TFSI に搭載される新しい 3.0 TFSI は、このモデルシリーズで最もパワフルなエンジンです。この V6 ガソリンエンジンの最高出力は 250kW (340PS)、最大トルクは 500Nm です。このエンジンを搭載した Audi Q7 の 0~100km/h 加速は 5.9 秒で、最高速度は 250km/h (リミッター作動) です (欧州仕様モデル計測値)

アルミニウム製クランクケースを備えた 3 リッター V6 ガソリンエンジンの重量は約 170kg です。



排気系統は、90° V バンクの内側に配置され、短いガス経路とツインスクロールターボチャージャーによって、各バンク間の好ましくない排気干渉を抑制し、自然なスロットルレスポンスを実現しています。

アウディは、中間負荷領域で特に効果を発揮する、「B サイクル」と呼ばれる燃焼プロセスを開発しました。このプロセスは、特別なバルブタイミングにより、3.0 TFSI の効率を向上させます。その燃焼方式をサポートするために、エンジン負荷と回転数に応じて、インテークバルブを 2 段階に調整するアウディバルブシフトシステムも採用されています。3.0 TFSI では、クランクケースとシリンダーヘッドにも個別の冷却回路が設置されています。エキゾーストマニホールドはシリンダーヘッドに一体化され、冷間始動後に素早くエンジンを暖機することができます。

BAS 及びリチウムイオンバッテリー：マイルドハイブリッドテクノロジー

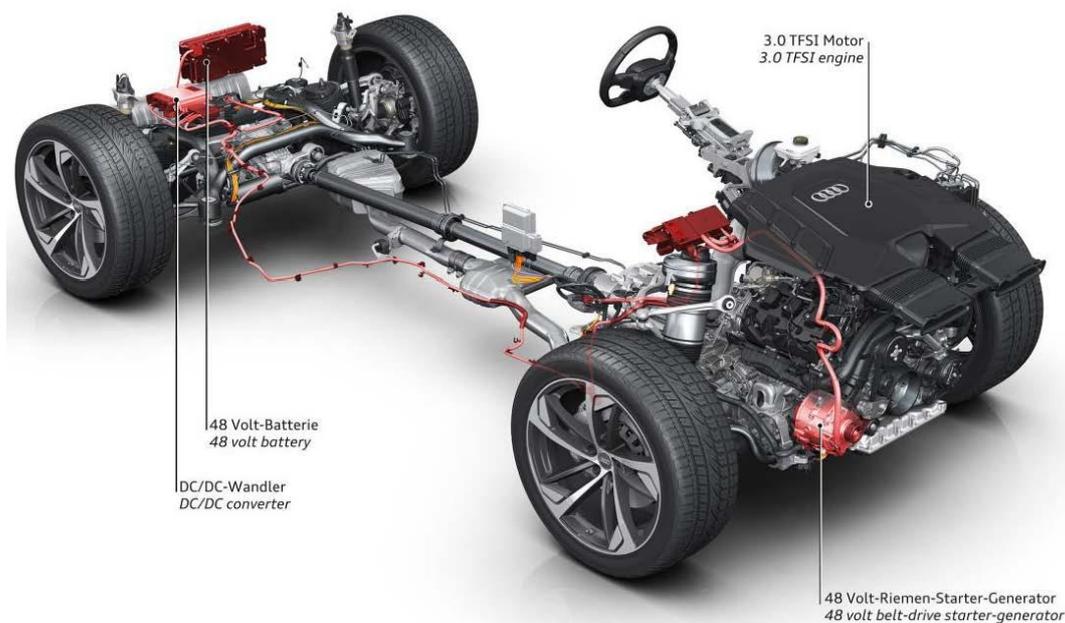
新型 Audi Q7 55 TFSI のエンジンは非常に効率的です。それには、標準装備されるマイルドハイブリッドテクノロジーが大きく貢献しています。この機能により、100km 走行毎に最大 0.7 リットルの燃料が削減されます。その中心的なコンポーネントは、クランクシャフトに接続され、48V の主電源システムにエネルギーを供給するベルト駆動式オルタネータースターター（BAS）です。回生エネルギーは、ラゲージコンパートメントフロアの下に取り付けられたコンパクトなリチウムイオンバッテリーに蓄えられます。減速時には、BAS が最大 8kW のエネルギーを回生します。55~160km/h で走行中にドライバーがアクセルペダルから足を離すと、Audi Q7 は、エネルギーを回生するか、アイドリング状態で惰性走行するか、エンジンを停止した状態で最大 40 秒間コースティング（無負荷走行）します。

エンジンマネジメントシステムは、現在の運転状況、トランスミッションプログラムの設定、アウディドライブセレクトのモードに応じて、これら 3 つの機能のどれを起動するかを決定します。ドライバーがアクセルペダルを踏むと、BAS は従来のスターターよりも迅速かつスムーズにエンジンを再起動します。スタート/ストップ機能も、22km/h 以下で作動します。車両が停止後、ブレーキペダルを踏んでいる状態でも、前方車両が発進すると、エンジンが再始動します。

Audi Q7	55 TFSI quattro
排気量	2,995
最高出力 kW (PS) /rpm	250 (340) / 5,000~6,400
最大トルク Nm/rpm	500 / 1,370~4,500
最高速度 (km/h)	250
0~100km/h 加速 (秒)	5.9
燃料消費量 (WLTC 複合サイクル) (ℓ/100km) *	9.1~8.7
駆動システム	quattro ドライブ
トランスミッション	8 速ティプトロニック
Audi Q7	45 TFSI quattro
排気量	1,984
最高出力 kW (PS) /rpm	185 (252) / 5,000~6,000
最大トルク Nm/rpm	370 / 1,600~4,500
最高速度 (km/h)	-
0~100km/h 加速 (秒)	-

燃料消費量 (JC08 モード) (km/ℓ) *	11.0
駆動システム	quattro ドライブ
トランスミッション	8 速ティプトロニック

* 数値は、タイヤ/ホイールのセット及び乗車定員数によって異なります。



非常にスムーズで素早いシフト：トランスミッション

Audi Q7 のすべてのエンジンは、8 速ティプトロニックと組み合わせられています。このトランスミッションには、エンジンの微振動を補正する、遠心振り子ダンパーが一体化されています。それによって、極低速でもスムーズな運転が可能になります。コースティング時や惰性走行時には、セントラルトランスミッションのクラッチが開き、パワーの伝達を遮断します。コースティング終了時には、電動オイルポンプが作動することによって、ギヤを噛み合わせることが可能になります。

フルタイム 4 輪駆動システムは、すべての Audi Q7 に標準装備されています。純粋に機械的に作動するセルフロックタイプセンターディファレンシャル (quattro ドライブシステムの中心的なコンポーネント) は、トルクコンバーター式オートマチックトランスミッションのハウジングに統合されています。通常走行時は、前輪と後輪に 40:60 の比率で駆動トルクを配分します。いずれかのホイールでスリップが発生した場合は、パワーの大半をトラクションが高い側のアクスルへ自動的に振り向けます。この場合、駆動力の最大 70% をフロントホイールに、最大 85% をリアホイールに配分することができます。スポーティな運転中は、エレクトロニックスタビリゼーションコントロールのインテリジェントなソフトウェア機能であるホイールセレクトィブトルクコントロールにより、理想的なハンドリングが実現します。このシステムは、コーナー内側のホイールをわずかに制動して、よりトラクションの高いコーナー外側のホイールの駆動力を増加させます。コーナー内側と外側のホイールに駆動力の差が生じることによって、クルマをコーナーに押し込む効果が生まれ、ステアリング操舵角にクルマが正確に追従して、より精度が高く俊敏なハンドリングが実現します。

インテリア&操作系

Audi Q7 は、5 人乗りまたは 7 人乗り仕様のどちらを選択しても、日常ユースにおける優れた利便性を特徴としています。このニューモデルは、インテリアの長さだけでなく、フロントとリアのヘッドルームとエルボールームの面でも、ライバルを凌いでいます。数多くの収納コンパートメント、インストルメントパネルの新しい収納スペース、広大な積載スペースは、高い実用性を提供します。5 人乗り仕様のラゲッジコンパートメントは、装備に応じて、最大 890ℓ の容量を提供します。リアシートの背もたれを折りたたむと、フラットな積載エリアが出現し、積載スペースは最大 2,075ℓ に拡大します。

電動式テールゲートが標準装備され、足の動きでテールゲートを開閉できるジェスチャーコントロールもオプション設定されています。電動式ラゲージコンパートメントカバーも、便利なオプションです。さらに、アウディはオプションで 7 シーターパッケージを用意しています。これを選択すると、2 列目の 3 つのシートすべてを個別に前後にスライドすることが可能になり、背もたれの角度も個別に調整できます。電動折りたたみ機能を備えた、2 座の 3 列目シートも装備されます。



豪華で広い室内：インテリア

Audi Q7 のインテリアは、水平基調のラインと、無駄を省いたインストルメントパネルにより、幅広感を強調しています。インテリアのアーキテクチャーは新しい操作コンセプトと完全に調和しており、明確でエレガントなデザイン言語を体現しています。姉妹モデルである Audi Q8 と同様に、Audi Q7 も 2 つの大型タッチスクリーンを備えたデジタル MMI タッチレスポンスコンセプトを採用しています。イグニッションをオフにすると、上部ディスプレイは、周囲の大型ブラッ

クパネルに溶け込んで、ほとんど見えなくなります。ディスプレイが起動すると、精度が高く、直感的に理解可能なグラフィックが表示されます。



インストルメントパネルの質感やラインといったすべてのデザインエレメントは、フラットなエアベントドアストリップからライトスイッチモジュールに至るまで、理論的な関連性を備えています。マルチカラーアンビエントライティングが標準装備され、夜間にインテリアの造形を浮かび上がらせます。オプションとして、ドアを静かに閉めることが可能な電動アシスト機能、4ゾーンエアコンディショナー、といった便利なオプションも用意されています。S line のステアリングホイールは、8速ティプトロニック用のシフトパドルを備えています。

エレガントからスポーティまで：インテリアの装備グレード

基本的なシート地は、標準でパーシャルレザーが採用されています。またオプションのコンフォートパッケージを選択すれば、シートベンチレーションとマッサージ機能を備えた、ボルテラレザーのシートが用意されています。マッサージ機能は、それぞれ5つのプログラムと強度を設定可能な10個の空気圧クッションが、背中のコリをほぐしてくれます。さらにAudi exclusiveによるエクステンディッドレザーを選択すれば、より上質な室内空間をつくりだすことが可能です。

S line では、フロントシート背もたれにSエンボス加工が施されたスポーツシートが装備されます。使用される素材は、バルコナレザーです。

スポーティなエレガンスと最高品質のクラフトマンシップを実現したAudi Q7のインテリアには、数多くのカラーや素材を選択することが可能です。トリム地には4種類のカラーが用意され、デコラティブパネルにはシルバークラウドダイヤモンドペイントとマットブラッシュトアルミニウムが用意されています。

新しいコンセプト：触覚フィードバックを備えた2つのタッチディスプレイ

新型Audi Q7には、最新のオーディフルサイズモデルと同じ操作コンセプトが採用されています。数多くのボタンやスイッチ、以前はセンターコンソールに装備されていたタッチパッドは、2つの



大型高解像度ディスプレイに置き換えられています。上部ディスプレイは、インフォテインメント及びナビゲーションシステムを操作するために使用します。この MMI ナビゲーションプラスのディスプレイのサイズは 10.1 インチです。8.6 インチの下部ディスプレイは、空調コントロール、各種コンビニエンス機能、手書き入力を含むテキスト入力に使用します。MMI タッチレスポンスコンセプトにより、素早く信頼性の高い操作が可能になっています。機能を起動すると、触覚および音響フィードバックが発せられます。メニュー構造には、スマートフォンと同様な無駄を排したシンプルなレイアウトが採用され、MMI 検索機能はフリーテキスト入力に基づいています。多くの検索では、最初の 2~3 文字を入力しただけで候補リストが表示されます。

オンボード及びオンライン：ボイスコントロール

MMI ナビゲーションプラスは、タッチディスプレイに加えて、日常会話にも対応したボイスコントロール機能を備えています。ドライバーはシステムに普通に話しかけることができます。例えば、「少し寒い」といった言葉を理解して、室内の温度を上げることが可能です。システムとの対話は、単なるメニュー表示といった領域を超えています。例えば、電話帳の連絡先を選んで電話をかけ、その住所をナビゲーションの目的地にすることができます。ボイスコントロールは、車載の情報だけでなく、クラウドからもコマンドや質問に対する情報を引き出します。

車載情報とクラウドの情報を相互に参照することにより、検出率と検索結果の品質が向上します。車載情報を参照する利点は、車両がインターネットに接続されていなくても（地下駐車場など）、迅速で信頼性の高いレスポンスが可能になる点です。

フルデジタル：オーディオバーチャルコックピット

新型 Audi Q7 は、アナログメーターの代わりに、オーディオバーチャルコックピットを標準装備しています。高解像度の 12.3 インチディスプレイ（1,920x720 ピクセル）は、マルチファンクションステアリングホイールを介して、2 種類のビューを切り替えることができます。S line に標準装備するヘッドアップディスプレイは、ドライバーの直接の視界の中に、走行に関する重要な情報を表示します。画像の視野は 5.4° x 2.1° で、ボンネット上の前方 2.3m の距離に浮いているように見えます。これは、その距離における iPad のサイズにほぼ匹敵します。表示される情報には、速度、ドライバーアシストの情報、詳細な交差点マップが含まれます。

インフォテインメントとコネクティビティ

MMI ナビゲーションプラスを搭載した新型 Audi Q7 は、高度なコネクテッド機能を備えています。このシステムには、Audi connect のデータ転送モジュールが統合され、Wi-Fi ホットスポット機能を提供するだけでなく、LTE-Advanced (LTE アドバンスド) 規格にも対応しています。ナビゲーションシステムは、時間、日付、渋滞といった要素を考慮しながら、過去に走行したルートに基づいて、インテリジェントなルートガイドを提供します。

青信号で交差点を通過：Audi connect サービス

Audi Q7 には、Audi connect サービスが提供するパッケージが含まれています。「Audi connect セーフティ&サービス」の機能は、エマージェンシーコール&サービスと車両のリモートコントロールの 2 つの領域に分けることができます。これらの機能は、MMI ナビゲーションプラスに備わる「Audi connect インフォテインメント」によって、さらに魅力的なものになります。提供されるサービスには、オンライン交通情報、Google Earth によるナビゲーションが含まれます。



MMI タッチディスプレイを使用すると、ナビゲーションマップで駐車場や観光スポットを選択したり、燃料価格、店舗の写真や営業時間に加えて、評判なども表示させることもできます。マップには新しい構造が採用され、多くの大都市の詳細な 3D モデルを提供します。新車購入後の最初の 3 年間、ユーザーは年に 2 回、無料でデータをアップデートすることができます。

アウディスマートフォンインターフェイスは、iOS 及び Android スマートフォンを車載インフォテインメントシステムに統合します。スマートフォンと車両を接続すると、Apple Car Play または Android Auto を MMI ディスプレイに転送することが可能です。myAudi アプリを利用すれば、たとえクルマの外にいても、Q7 とスマートフォンを接続することができます。このアプリは、myAudi ナビゲーションを提供し、「Audi connect アシスタンス&リモートサービス」の機能を操作できます。さらに、スマートフォンのカレンダーを MMI システムに転送することもできます。最大 7 人のドライバーが、各自のユーザープロフィールをクルマに登録することができます。設定可能な項目は、空調コントロール、ナビゲーションの目的地、好みのメディアなど、最大 400 項目にも上ります。車両はキーシグナルを使用してユーザーを判別し、ドアのロックを解除すると、登録されたプロフィールを自動的に呼び出します。

安全と安心を提供：ドライバーアシストシステム

新型 Audi Q7 には、様々なドライバーアシストシステムが用意されています。アダプティブクルーズコントロール、トラフィックジャムアシスト、アクティブレーンアシストの機能を組み合わせたアダプティブドライビングアシストは、特に長距離走行でドライバーの負担を軽減します。このシステムは、車両前方の状況に合わせて Audi Q7 の加速と制動をアシストします。その機能を実現するため、センサー情報、ナビゲーションデータ、道路標識を分析します。パッケージには、カメラベースの道路標識認識機能、対向車や前方車両との衝突を防止するターンアシストや衝突回避アシストも含まれています。

360° のサラウンドビューカメラは、駐車場などでドライバーをサポートし、複数のビューを切り替えることが可能です。これらのビューには、クロストラフィックビュー、自由に選択可能な 3D バードビューが含まれています。また駐車などの際に、車両の前後だけでなくタイヤ周辺の状況を 3D ビューにより確認可能なカーブストーンアシストを標準装備しています。

これらのシステムの基盤となっているのが、車両周囲の正確な環境モデルを継続的に算出するセントラルドライバーアシスタンスコントローラーです。この環境モデルは、ブレーキをかけるタイミングなど、アシストシステムが精密かつタイムリーに物体に反応することを可能にします。また、センサーからのデータを統合することによって、現在の走行レーンまで特定できるため、非常に正確なナビゲーションが実現しています。選択したオプションに応じて、セントラルドライバーアシスタンスコントローラーは、最大 5 台のレーダーセンサー、5 台のカメラ、12 台の超音波センサーからデータを受信します。

以上